



ご挨拶

本日は「A-Winds 25 秋の演奏会」にお越し下さり誠にありがとうございます。「こころ豊かな文化の香り高き町:大和郡山市」のお城の麓「やまと郡山城ホール」で皆様方こうしてお逢いすることができましたことに、A-Winds 一同心より感謝しております。1999年10月の発足と同時に活動を始めて以来、1999年秋の“デビュー演奏会”を始めとする、四季折々に開催する我々A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラの定期演奏会も、おかげさまで8年の間に25回目の演奏会を迎えることができました。これも我々A-Windsの活動そして音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援あつてのことと感謝しますとともに、団を代表しまして心より厚く御礼申し上げます。吹奏楽のオリジナル作品を中心に取り上げることを活動方針に掲げ、作曲家の方々を、実際に練習にお招きして、ご自身の作品の生い立ちや、楽曲の紐解き解説を聞きながら合奏指導を受けたりと、様々な啓蒙に取り組み活動してまいりました。今回は、アメリカ吹奏楽作曲家の雄、D.R.ホールジンガーの傑作の一つ「スクーティン・オン・ハード・ロック」をオープニングに取り上げ、ブルースやチャールストンの織り込まれたG. ガーシュインのかの有名な「パリのアメリカ人」で締め括ります。思わず体が勝手に動き出すような、ロック、ディスコ、サンバからジャズまで、リズム感満載の演奏をお楽しみいただければと思います。なんでも、自身のパリ旅行の印象から作られた曲と言われるこの「パリのアメリカ人」は今から約80年程前に、カーネギーホールで初演されたとか。今日、我々50人の奏でる音楽が、いつまでも皆様方の心の中で鳴り響き続ける音楽でありますよう、心のこもった音楽活動を続けたい思いを込め、団員を代表しまして一句詠ませていただきます。

時を経て ガーシュインも おフランス

今後とも、温かい御指導、御支援の程、宜しくお願い申し上げます。

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ 団長 魚谷昌克

*

本日は「A-Winds 25」2007年秋の演奏会にご来場たまわり、ありがとうございます。心より御礼申し上げます。記念すべき25回目の演奏会は、一部から三部までノリノリの吹奏楽をお届けいたします。一部の吹奏楽オリジナル曲のステージでは、聴いたことなくて思わず体がノってしまうのです…。三部では、過去の演奏会のアンケートでお客様からのリクエストの多かった「映画音楽」を取り上げています。題名を見てピンとこなくても、「あ、なんか聴いたことある～」という昔懐かしの曲を集めてみました。そして、前々回から連続企画のアンサンブルステージも、各パート趣向を凝らしてパート独自の良さをアピールいたします。全ステージ、世代を越えて「ええもんはええ！」と楽しんでいただける曲をご用意しております。芸術の秋、本日もお越しくださいましたすべてのお客様と“音楽の楽しさ”を味わいながら過ごさせていただけましたら、団員一同これ以上の喜びはございません。ぜひ、遠慮なさらずノリノリでご覧になってください。

A-Winds 25 2007年 秋の演奏会 実行委員長 久保寛美



ご案内

“A-Winds 26” 2008年 春の演奏会
2008年3月16日(日) 14:00開演

私たちA-Windsの音楽で、神話をきいてみませんか？
私たちA-Windsの音楽で、素敵な情景を思い浮かべてみませんか？
A-Winds 26ではそんな音楽を盛り込んで、楽しいステージをお届けしたいと思います。
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

A-Winds 26 2008年 春の演奏会 実行委員長 田中香菜絵



A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ

Piccolo	佐藤 由加里	Trumpet	表 恭子◇
			吉川 茂宏
Flute	佐藤 司		魚谷 昌克
	魚谷 陽子		篠木 章江#
	大塚 由起♪		山本 洋介
Oboe	東海林 毅		亀田 小百合
			小倉 明花
E♭ Clarinet	長尾 恭子	Trombone	萱原 淳嘉
			小泉 文浩◇
B♭ Clarinet	畑澤 淳子		岡田 卓也
	竹村 明恵		田中 真二
	栗原 茂美♪		鈴木 恵子
	大江 奈々	Euphonium	大西 善郎
	後藤 咲妃		忠澤 直美
	森本 幸恵	Tuba	植野 正男☆
Alto Clarinet	大西 晴己	Percussion	平井 晶♪
			荒井 智子
Bass Clarinet	小山 優美		谷口 麻子
			辻 歩
Bassoon	萱原 美華子		久保 寛美
	満江 孝文♪		川本 理恵
Alto Saxophone	鳥田 博一		豊川 史香
	田中 香菜絵	Piano	八木 真木
Tenor Saxophone	初岡 和樹		
	宮本 祐輔☆	☆エキストラ	
Baritone Saxophone	吉村 由夫♪	◇休団	
		♪A-25 演奏会実行委員	
Horn	久野 耕三♪#	#アンサンブルステージ実行委員	
	次田 哲平		
	小林 計昭		
	芳賀 大輔◇		
	村上 綾		



A-Winds メンバー募集

- 募集パート
 - ・オーボエ (イングリッシュ・ホルン) / 1名
 - ・B♭クラリネット / 3名
 - ・チューバ / 3名
 - ・コントラ・バス / 2名
 - A-Windsの活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
 - ご自分で楽器を準備できる方
 - 全ての活動に賛同頂ける方
 - 18歳以上の方
- 問い合わせは先<e-mail>a-winds@amber-plala.or.jp
- 詳細はお問い合わせ下さい。



2007年 秋の演奏会

2007年11月4日(日) 13:30開場 / 14:00開演
やまと郡山城ホール大ホール

主催 ● A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ
後援 ● 大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟



プログラム

◆第1部◆指揮者：吉崎直之

スクーティン・オン・ハードロック

～3つのジャズ風即興的舞曲～

Scootin' On Hardrock

Three Short Scat-Jazzy Dance

作曲：デビット・R・ホールジンガー／David R.Holsinger

出版：TRNミュージック

“ハードロック”とは、レッドツェッペリン、ディープパープル等に代表される、音楽のジャンルとしてのハードロックのことではなく、昔、作曲者＝ホールジンガーが住んでいた、テキサス州シャディーグローブという町のメインストリート『ハード・ロック・ロード』のことです。今はさびれてしまった道路でも、彼にとってはとても思い出深い場所だったようで、この道をすべるように走れば(＝Scootin')『ここではないどこか遠いところ(＝夢の世界)』に、連れて行ってくれる、そんなすばらしい道(夢への道)に思えるようです。この曲は、ニューヨークのグランドアイランドハイスクール・シンフォニックバンド、その指揮者マーティン・A・アレンからの委嘱によって書かれた曲です。

ゲール・フォース

Gaelforce

作曲：ピーター・グラハム／Peter Graham

出版：グラマシーミュージック

この曲は、ノルウェイ王立海軍軍楽隊の委嘱によって書かれたものです。グラハムは、最近注目を浴びている「アイリッシュ・ミュージック」＝ケルトの民謡から3つのメロディーを取り上げ、急-緩-急、の形に作り上げました。この曲は「ロッキーロード・トゥー・ダブリン(ダブリンへ続く石ころ道)」「ミンストレル・ボーイズ(若き吟遊詩人たち)」「トッシング・ザ・フェザー(羽根を投げ上げる)」の3つのパートから成っています。ゲール"Gael"とはケルト人の別名であり、彼らの言語は「ゲイル語」と呼ばれていました。“ゲールフォース”とは彼らが古代から持ち続けている神秘的な力を意味し、アイルランドには同名の「ダンス」「ダンスグループ」「アドベンチャレース」等々があり、かの地ではかなりポピュラーな名前ようです。

元 禄

作曲：榎田 朕之扶

出版：すみや出版

17世紀末から18世紀にかけての『元禄時代』とは、戦乱が治まってから数十年経ち、まさに生を歌い上げた自由奔放な町人の文化が溢れていた時代でした。日本の音を求め日本の音を表現しようとし続ける作曲者＝榎田朕之扶は、日本の伝統を追い求めている、とも言えるでしょう。自然と『元禄時代』の民衆の生活が目に見え、タイムスリップした気分が味わえます。

◆第2部◆アンサンブルステージ(連続企画)

●打楽器パート メタモルフォシス METAMORPHOSIS

作曲：ケヴィン・リップパー／Kevin Lepper

出版：アドヴェンスト

●フルート・パート オーバー・ザ・レインボー Over The Rainbow

作曲：ハロルド・アーレン／Harold Arlen

編曲：広川 由美子

出版：ウィンド・スコア

ノエル

NOEL

荒野のはてに～初めてのクリスマス～クリスマスおめでとう～もろびとこぞりて

編曲：比護 いづみ

出版：ベビモン・ミュージック

◆第3部◆指揮者：吉崎直之

「追憶」のテーマ

Theme from Motionpicture"The Way We Were"

作曲：マービン・ハムリッシュ／M. Hamlish

編曲：浦田 健次郎

出版：株式会社ヤマハミュージックメディア

映画そのものより、1973年の“アカデミー作曲賞・同歌曲賞”を受賞したマービン・ハムリッシュ作曲のこの主題歌のほうがいまにも有名です。映画『追憶(The Way We Were)』は、裕福な家庭に生まれながらも現実を見つめて生きて行く美男子と理想を追い求め政治活動に走るあまり美人でもない女性の20年以上に渡る愛の物語で、21世紀に入ってからもアメリカ人の選ぶ「ベストロマンス映画」のベストテンにランキングされている名作映画です。本日は哀愁漂うアルトサクソスのソロをお楽しみください。

“1941”マーチ March from Motionpicture"1941"

作曲：ジョン・ウィリアムス／John Williams

編曲：P・ラベンダー／Paul Lavender

出版：UPGミュージック

1979年製作、製作総指揮：ジョン・ミリアス、監督：スティーブンスピルバーグ、原作・脚本：ロバートゼメキス、主演：ジョン・ベルーシ、というそうそうたるメンバーが名を連ねたこの映画は、三船敏郎の遺作としても知られております。興行的には(日本だけでなく)世界的にも『前評判倒れ』として、今も語り継がれています。いきなり”JAWS”のパロディーから始まるこの映画にふさわしく、主題歌も「あれ？どこかで聞いたことあるか、な？」というようなメロディーです。

ニュー・シネマ・パラダイス

ニュー・シネマ・パラダイス～愛のテーマ～初恋

From Motionpicture "Nuovo Cinema Paradiso"

作曲：エンニオ・モリコーネ／Ennio Morricone

編曲：大島 ミチル

出版：EMIミュージック

1989年に発表されたこの映画は、当時の日本では無名の監督、俳優で製作されたため、大きな映画館で見るよりも小劇場の自主興行、あるいは、テレビの「映画劇場」で見たことのほうが多いかもしれません。戦後間もないシチリアの小さな村の映画館をめぐる人々の映画への愛を描いた優し〜く温か〜い作品です。この映画にふさわしい主題曲は、最近では生命保険のCMに使われたりしており、どなたにもおなじみの曲でしょう。

パリのアメリカ人

From Motionpicture"An American in Paris"

作曲：G・ガーシュイン／George Gershwin

編曲：岩井 直博

出版：ヤマハ音楽出版

この曲は、ジーン・ケリー主演の1951年製作の映画のために作曲されたものではなく、ジョージ・ガーシュインがニューヨークフィルの委嘱を受けて1928年に発表され、その後曲にあわせて映画が作られました。もともとジャズのピアノ弾きだったガーシュイン、彼自身が1920年代に過ごした“パリ”の活気に触発されて作った大掛かりな表題音楽であり、いわば音楽によるフランス紀行文ともいわれています。

司会：小川貴子



プロフィール

吉崎直之

奈良市立二名中学校、京都市立堀川高等学校音楽科(現京都市立音楽高等学校)、京都市立芸術大学音楽学部卒業。トランペットを八木茂夫、北村源三、藏野雅彦、有馬純昭の各氏に、指揮法を伊吹新一に師事。大学在学中から、フリーランス奏者として活動。京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、東京俊成ウインドオーケストラ、宝塚歌劇場管弦楽団、広島交響楽団、京都フィル・ハーモニー室内合奏団等にエキストラ出演。京都JEUZIAトランペット講師、大阪ブラス・コンソートのコンサート・マスター、BREEZE BRASS BANDでの活動を経て、現在、ブラス・フェイヴァリッツ、ウインドカンパニー、JAPANアカデミー・トランペット・アンサンブルのメンバー。ヤマハ株式会社契約インストラクター。全日本学校音楽研究会講師。奈良県立高円高等学校音楽科トランペット主科講師。京都市教育委員会吹奏楽特別非常勤講師。平成18年度文化庁学校派遣講師。賢明学院小学校、吐山ブラスバンド、橿原市立鴨公小学校、生駒台ジュニアブラスバンド、王寺ジュニアバンド・ハルモ、橿原市立八木中学校、葛城市立白鳳中学校、山添村立山添中学校、奈良県立高円高等学校、平城高等学校、二階堂高等学校、畷傍高等学校、京都市立紫野高等学校、白頭学院建国中・高等学校の各バンドを指導。